

FastIL: 接続性テストの革命

VIAVI のパッシブコンポーネントテスター (PCT) は、お客様主導の製品であり、現在、お客様のテストのスループットと効率を向上させるために設計された革新的な機能である **FastIL** と呼ばれるエキサイティングなプロセスを採用しています。FastIL は、コネクタ分野のメーカーにとって画期的であり、市場で最速の IL/RL テストメーターにおいても比類のない高速化をもたらします。



FastIL を使用する理由

FastIL は以下のような重要なニーズのいくつかに対応しています。

- **高い生産コストの削減:** テスト対象デバイス (DUT) あたりの製造コストが高い製造業者、特に複数のファイバーを使用する製造業者にとって、FastIL は、本テスト前の事前スクリーニングを可能にすることで、コスト効率の高いソリューションになります。
- **複雑なテストセットアップの管理:** スイッチと積分球を使用する製造業者は、チャンネル間を素早く切り替え、挿入損失を効率的に測定できる FastIL の能力から恩恵を受けることができます。
- **簡単なオートメーションとプロセス制御:** 独自のソフトウェアを統合するメーカーにとって、FastIL は完全に自動化され、SCPI コマンドでアクセスできるため、テスト環境の自動化に最適です。



主な利点

- **スループットの向上:** FastIL は、DUT の任意のチャンネル数で挿入損失の事前スクリーニングを実行できるため、テストのスループットが大幅に向上します。
- **高コスト効率:** チャンネルを事前にスクリーニングすることで、完全な測定を実施するか、DUT を再加工するかの判断が可能となり、テスト全体のコスト削減につながります。
- **汎用性:** FastIL は、どのような複雑さや入出力マッピングを持つ DUT にも対応可能で、他のソリューションと比べて比類のない柔軟性を提供します。
- **無料の機能:** FastIL は PCTmax にネイティブに含まれており、追加費用がかからず、お客様のテストニーズを満たす経済的な選択肢となっています。

スループットの向上

FastIL を使用することで、DUT のチャンネル数や各チャンネルのファーストパス歩留まりによっては、スループットを 100% 以上向上させることができます。

スループットの向上	80% シングルチャンネル歩留まり	90% シングルチャンネル歩留まり
1チャンネル	13%	2%
12チャンネル	100%	60%
64チャンネル	170%	110%

よくある質問

FastIL は DUT をどのくらいの速度で測定できますか？

FastILは、1チャンネルあたり0.2秒の速度でDUTの挿入損失を事前スクリーニングできます。計測グレードの測定ではありませんが、DUTのパフォーマンスに対する貴重な知見を得ることができます。

すべてのIL測定をFastIL測定にできない理由

FastILは、光スイッチング速度とスイッチの定常速度における物理的限界を押し広げます。これは、PCTが標準測定で返すような正常に動作しているチャンネルの正確な測定値を提供するのではなく、良好なチャンネルと悪いチャンネルを素早く識別するための事前スクリーニング用に設計されています。

FastILは、お客様のテスト能力を強化する画期的な機能で、スループットの向上、コスト効率、汎用性をもたらします。FastILをテストプロセスに統合することで、より速く、効率的で、コスト効果の高い結果を得ることができます。パッシブコンポーネントテスター (PCT) の詳細については、VIAVIの担当者にお問い合わせください。